

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第7号 水 稲

発行日 平成22年 9月30日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

県内全域で刈り取り作業がすすんでいます。刈り遅れは品質低下の原因となりますので、刈り取りがまだの方は速やかに刈り取りをすませましょう。また、作業は計画的にすすめ、農作業安全に心掛けてください。

なお、水口や生育の遅れている部分は刈り分け、倒伏した圃場では慎重な収穫作業(適切な作業速度、刈り分けによる品質確保等)を行ってください。

1 刈り遅れに注意

刈り遅れるほど着色粒等の発生は多くなり、品質低下の原因となります。刈り取りがまだの方は速やかに刈り取りを行いましょう。

2 品質向上に向けた収穫対策

水口の生育遅れ、倒伏した圃場がところどころに見られます。このようなところでは、以下を参考に対応してください。

(1) 生育ムラの大きな圃場

- ア 水口の生育遅れている部分は刈り分けを行って、その他の部分と混ぜないようにする。
- イ 草丈にムラがあるときは、こぎ深さをこまめに調節して、できるだけ同一条件で刈り取る。

(2) 倒伏した圃場

- ア 倒伏したままの稲の稈は切れやすく、コンバインが詰まりやすくなるので、作業速度はできるだけ遅くすること。
- イ 穂発芽等により品質低下がみられる場合には、刈り分けをすること。

3 農作業安全

計画的に作業をすすめ、農作業安全に心掛けてください。

- ア 圃場での移動、運搬の際の転倒事故や追突事故には十分注意すること。
- イ コンバインにワラ等が詰まった場合には、必ずエンジンを止めてからこれらを取り除くこと。
- ウ 夕方の事故が多いので、休息をとりながら焦らず、慎重な作業を心がけること。

農作物技術情報第8号は10月28日(木)発行の予定です。
気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
発行時点での最新情報に基づき作成しております。
発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間
農作業 慣れと油断が落とし穴 初心を忘れず 安全第一